



# Plus RMA



第21号  
2025/4/1  
一般社団法人 RMA

## ❁ CONTENTS ❁

- ❁ 2025年度を迎えて ..... 植松 慶生 2
- ❁ 第32回 見学会報告(公益財団法人競走馬理化学研究所)..... 山本・中澤 4
- ❁ 第5回 RMAフォーラム開催報告 ..... 田中 隆 5
- ❁ RMA 2025年度セミナー開催予定表 ..... 6
- ❁ 事務局だより ..... 10

# 2025 年度を迎えて

## 一般社団法人 RMA 代表理事 植松 慶生

RMA会員の皆様におかれましては平素よりRMAの活動にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

### 1. 2024年度の活動を振り返って

新型コロナウイルス感染症の流行は2024年には終息が期待されていましたが、昨年秋以降のインフルエンザの流行と共にコロナ感染とインフルエンザのダブル感染例が増えるなど、まだまだ安心できない日々が続いています。経済のほうは、2022年後半から始まった円安の効果やインバウンド観光客の急増によって輸出関連産業や観光産業を中心として景気が好転し、今春闘では昨年を超える大幅ベースアップが大手企業で行われるなど、2025年度も景気の上昇が期待されます。一方で中小企業の皆様は材料費の高騰などで景気好転の恩恵にあずかれず、厳しい状況が続いています。私たちの生活も、米価が典型例の物価高騰は留まるどころを知らず、以前にもまして生活が厳しくなった感があり、景気的好転を感じるにはまだまだ時間が掛かるように思えます。

さて、RMAのセミナー活動においては、コロナ感染症の影響で2020年度に落ち込んだセミナー参加者数も2021年度にはほぼ回復し、2023年度、2024年度もオンラインセミナーと対面型セミナーを両立させて開催しました。セミナー参加者数は2021年度に少し及ばない状況が続いています。2023年度より、ISO 15189:2022の発行に伴うISO 15189の規格解説セミナーの毎月開催を決め、臨床検査分野のセミナー開催に注力してきました。2024年度はISO 15189規格解説セミナーの開催と共に臨床検査分野のリスクマネジメントや内部監査／マネジメントレビ

ユーに特化したセミナーを開設しました。

また、ISO/IEC 17025ラボラトリ向けセミナーの参加者数もこの数年若干減少傾向にありますが、一方で内部監査員養成セミナーや不確かさセミナーは根強い人気があり、参加者数全体としては微減にとどまっています。

セミナーに参加された皆様には毎回アンケートにご協力いただきご意見を伺っています。その中から新たなセミナーの創設に繋がるよう努力しています。

また、RMAは講座型のセミナー事業以外に、個別の企業様からのご要望により個別支援業務（コンサルティング）や講師派遣型セミナーを行っています。個別支援業務については、2019年度より2024年度まで少しずつ増加しています。これらの業務は、個別のご要望にお応えするテラーメイド型の支援業務であり、個別のご要望にお応えしやすいこともあり、今後も更なる増加が見込まれます。

ISO 15189:2022の発行に伴い、書籍“ISO 15189:2022が臨床検査室を変える”をリニューアル発刊いたしました。この書籍は、初版が2015年4月1日に発行されて以来、今回で第5版目になります。2024年10月に発刊以来、好評をいただいております。引き続き購入依頼がきています。

恒例の試験所見学会は、2025年2月27日に公益財団法人競走馬理化学研究所のご厚意でラボ見学を開催しました。今回で2回目の見学となりましたが、競馬が世界中で広く実施されていることから競走馬のドーピングが、競争の結果に重大な影響を与え得ることを考えると、この研究所の試験実施能力は世界標準で評価される必要があることを再認識しました。この分野では、国際試験所認定協力機構（ILAC）

がILAC G7 “Accreditation Requirements and Operating Criteria for Horseracing Laboratories”という認定基準を補足する文書を発行していることを考えてもその重要性が伺えます。

## 2. 2025年度の活動方針

RMAは、皆様のご期待により良くお応えできるセミナー体系とすべく2024年までのセミナーの参加者数の傾向分析を行い、2025年度の活動方針及びセミナープログラムを策定しました。

### 2025年度基本方針：

「ISO認定取得及び維持のための支援に関するニーズとシーズの発掘と適切な数と内容のセミナー開催、講師派遣・個別支援業務の提供」

この基本方針をもとに、2025年度の活動方針を次のとおりとしました。

- ◆ 対面型セミナーとオンラインセミナー双方の提供継続と規格導入セミナーの創設
- ◆ ISO 15189の規格解説、臨床検査室のためのリスクマネジメント (ISO 22367) 概説、ISO 15189内部監査員養成コースの継続に加え、臨床検査室向けの個別課題相談コーナーの新設。
- ◆ 個別支援 (コンサルティング) 業務、講師派遣型セミナーの更なる拡大

これらの基本方針及び2024年度の事業実績およびセミナー参加者数の分析などをもとにセミナープログラムを見直し、2025年度はオンラインセミナーの割合を増やし対面型セミナーを30講座、オンラインセミナーを45講座開催することを計画しました。

RMAでは、ISO/IEC 17025及びISO 15189をメインにISO/IEC 17065製品認証や試験所経営に役立つセミナーも開催しています。公益財団法人日本適合性認定協会(JAB)が2025年3月24日現在でISO/IEC 17025:2017に基づき試験所308機関、校正機関33機関及びISO/IEC 17065:2012に基づき製品認証機関20件を認定し、またISO 15189に基づき臨床検査室309機関を認定しています。特に医療機関や登録衛生検査所等の臨床検査室がISO 15189に基づく認定を取得することは

厚生労働省の政策でもあり、認定数は今後も順調に増加することが予想されます。加えて、ISO 15189は2022年12月に改定され、これまで2012年版で認定を受けてきた臨床検査室は2025年末までに新規格による認定へと移行しなければなりません。このような状況下でこれまで認定を受けている臨床検査室のみならず、認定取得の準備を進めている臨床検査室も、新規格の内容について熟知する必要性があります。このためRMAは、2024年度の主力事業の一つであるISO 15189:2022の解説セミナー、臨床検査室向けリスクマネジメント解説ISO 15189:2022内部監査員コースを継続します。

また、ISO/IEC 17025及びISO 15189のラボラトリ分野においては、アンケートのご意見・ご要望を踏まえ、いきなりの規格解釈ではなく、規格の意味づけなどが分かる導入セミナー、「はじめてのISO/IEC 17025」、「はじめてのISO 15189」セミナーを新たにオンラインで創設しました。

個別支援業務 (コンサルティング) や講師派遣セミナーについてもご要望に応じられるようこれまで以上に注力して参ります。特に個別支援業務については、これまで認定実績のない試験分野での認定取得のための技術支援が要求されており、RMAとしてこれらの要請に応えるべく、技術専門家の方々と契約を拡大します。講師派遣セミナーも大規模なラボラトリには開催メリットが大きいいため開催需要があり、都度ご相談を承ります。

加えて、2025年度は臨床検査分野に特化して個別課題の相談コーナーを設けます。この個別課題相談コーナーは、ISO/IEC 17025ラボラトリ向けのコンサルティングとは違って、施設毎の特定の課題に限定して短時間 (90分程度) で実施します。これにより、臨床検査室の個別課題解決にお手伝いできる支援業務が実現すると考えます。

これらのセミナーや個別支援業務以外にも、RMAは会員の皆様からのご要望に応じて2025年度もラボラトリ見学会を開催したいと考えています。また、RMAフォーラム等のイベントも引き続き開催する予定です。

最後になりましたが、本年度も皆様の益々の事業のご発展を心より祈念するとともに、本年度も引き続きRMAの各種事業へのご参加をお待ち申し上げます。

## 第32回見学会報告 ～公益財団法人 競走馬理化学研究所 様～

2025年2月27日、競走馬理化学研究所ご協力のもと、第32回見学会を開催いたしました。



競走馬理化学研究所 正面玄関

宇都宮市郊外の自然に囲まれた広大な敷地内に競走馬理化学研究所はあります。受付を済ませ、いよいよ始まります。

はじめに側原常務様よりご挨拶をちょうだいし、続いて薬物分析部長の木下様に業務の説明をいただきました。動画・スライドを交えて、競走馬の薬物検査を中心にお話を伺いました。競走馬理化学研究所は、日本で唯一の競走馬のドーピング検査研究機関です。検査に際しての検体は何か、陽性になった場合はどうするのかなど、興味が尽きないお話でした。(検体は基本的に尿及び血液です)

ISO/IEC 17025に認定されている試験所で行われる分析への深い信頼を感じることができました。



IFHA認定証

加えて、国際競馬統括機関連盟(IFHA)より指定検査機関に任命されています。公認分析化学者協会(AORC)や国際動物遺伝学会(ISAG)が毎年実施する国際的な技能試験においても、常に優れた成績を維持しており、日本における競走馬ドーピング検査研究に留まらず、世界に通用する競走馬に関わる試験所のひとつです。



登録証 (左: AORC 右: ISAG)



続いて施設見学です。物分析部検査室に入室させていただきました。万全なセキュリティのもと、白衣をお借りしてLab tourのスタートです。



検査室見学の様子と機材

宇都宮は「雷都」と言われるくらい雷が多く、停電が度々あるとのこと。数分間の停電に耐えられるよう、5分以上続く場合は測定を止めて機器を正常にシャットダウンできるよう、すべての測定機器にUPS(無停電電源装置)を設置しています。

見学後は質疑応答の時間を設けてくださり、参加者の皆様から、自社になぞらえた質問があり、それに対する応答をいただき、大変有意義な時間となりました。

競走馬理化学研究所の皆様、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。



参加された皆様と競走馬理化学研究所の方々との集合写真

事務局 山本朋子/中澤由美子 記

# 第5回 RMA フォーラム開催報告

一般社団法人 RMA 事務局長  
田中 隆

2025年3月14日にRMA事務所のあるアイオス五反田駅前ビルでRMAフォーラムを開催しました。  
皆様のご参加有り難うございました。

代表理事植松慶生によるRMA活動報告の他に、今年度の特別講演として、長年JABでISO/IEC 17025の認定審査やRMAの当該分野のセミナー講師などでご活躍されていた口石茂松様をお迎えし「ISOあれこれ」と題して、ISOや品質管理にまつわる経験や興味深いお話を講演していただきました。

RMAフォーラム後、特別講演講師も含めて参加者との懇親会を催しました。

## RMA フォーラムプログラム

開催日時:2025年3月14日(金)13:30~15:30

1. RMAの活動報告:植松 慶生(RMA代表理事)
2. 特別講演:ISOあれこれーISOや品質管理にまつわる経験談などの身近な話ー  
講師:口石茂松(前ISO/IEC 17025認定審査員、元ISO9001認証審査員)
3. 懇親会:15:30~16:30

RMAの活動報告では、RMA会員数の推移、セミナーの種類、開催数、参加者数などの状況、個別支援・講師派遣、見学会などの活動を報告し、来年度の計画を紹介しました。特別講演では講師の口石様から、ISOに関わり始めたISO 9001審査員時代の話から始まり、直近まで関わってきたISO/IEC 17025認定審査までの約20年間の経験談を審査に係わるいろいろなキーワードを通じてお話伺いました。懇親会では、口石様には引き続きご参加いただき、会員の方々と情報交換や会員同士の親睦を深めていただきました。

日頃他業種の方々とのコミュニケーションが限られる中で、ISO/IEC 17025を共通因子として横の繋がりの親睦の輪が広がるように感じられ、このフォーラムがお役に立てたとしたら幸いです。

以上



<画像>RMAフォーラムの様子  
左:RMAの活動報告  
中央:特別講演  
右:懇親会

# RMA 2025年度 対面型セミナー 開催予定表

1/2

※ 諸事情により日程は変更する場合がございます。

No.	対面型セミナー  ※3か月前からお申込み可能となります	会場	受講料 (消費税込)		2025年度																
					2025年										2026年						
					上期					下期											
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
			会員	非会員																	

## 規格解説セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	第78回 ISO/IEC 17025 規格解釈と運用セミナー(大阪) “要求事項の解釈はこれでいいの?—判断の難しい事例を踏まえて”	大阪	¥33,000	¥66,000		5/29										
2	第79回 ISO/IEC 17025 規格解釈と運用セミナー(東京) “要求事項の解釈はこれでいいの?—判断の難しい事例を踏まえて”	東京	¥33,000	¥66,000			6/26									
3	第80回 ISO/IEC 17025 規格解釈と運用セミナー(東京) “要求事項の解釈はこれでいいの?—判断の難しい事例を踏まえて”	東京	¥33,000	¥66,000								11/5				

## 内部監査員養成セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4	第113回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000		5/20 21										
5	第114回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(大阪)	大阪	¥66,000	¥132,000			6/12 13									
6	第115回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000				7/9 10								
7	第116回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000						9/18 19						
8	第117回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000							10/16 17					
9	第118回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(大阪)	大阪	¥66,000	¥132,000								11/18 19				
10	第119回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000									12/17 18			
11	第120回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000											2/18 19	
12	第5回 ワンランクアップ ISO/IEC 17025 内部監査員セミナー(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000							10/28 29					
13	第6回 ワンランクアップ ISO/IEC 17025 内部監査員セミナー(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000												3/5 6

## 試験技術セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
14	第3回 ISO/IEC 17025リスクから考える試験、不確かさとトレーサビリティ(東京) —演習で学ぶ、試験の質管理、トレーサビリティと校正—	東京	¥33,000	¥66,000				6/2								
15	第4回 ISO/IEC 17025リスクから考える試験、不確かさとトレーサビリティ(東京) —演習で学ぶ、試験の質管理、トレーサビリティと校正—	東京	¥33,000	¥66,000									12/1			

# RMA 2025 年度 対面型セミナー 開催予定表 2/2

※ 諸事情により日程は変更する場合がございます。

No.	対面型セミナー  ※3か月前からお申込み可能となります	会場	受講料 (消費税込)		2025年度											
					2025年						2026年					
					上期						下期					
					会員	非会員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月

## 食品、微生物分野セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
18	第21回 食品・生物系試験所のための内部監査員養成セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000								11/12				

## 臨床検査分野セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
19	第19回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(東京)	東京	¥49,500	¥99,000		5/15 16										
20	第20回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(東京)	東京	¥49,500	¥99,000						9/12 13						
21	第21回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(東京)	東京	¥49,500	¥99,000											2/13 14	
22	第1回 ISO 15189:2022 内部監査員養成(JIS Q 19011準拠) & マネジメントレビューセミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000				7/18								
23	第2回 ISO 15189:2022 内部監査員養成(JIS Q 19011準拠) & マネジメントレビューセミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000								11/28				
24	第3回 ISO 15189:2022 内部監査員養成(JIS Q 19011準拠) & マネジメントレビューセミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000												3/13
25	第4回 臨床検査室のためのリスクマネジメントセミナー(演習あり) ～ ISO 15189, ISO 22367をより理解するため～(東京)	東京	¥33,000	¥66,000				7/4								
26	第5回 臨床検査室のためのリスクマネジメントセミナー(演習あり) ～ ISO 15189, ISO 22367をより理解するため～(東京)	東京	¥33,000	¥66,000								11/14				
27	第1回 臨床検査室のための精度保証セミナー(不確かさを含む)(東京)	東京	¥33,000	¥66,000			6/20									
28	第2回 臨床検査室のための精度保証セミナー(不確かさを含む)(東京)	東京	¥33,000	¥66,000									12/12			

## 製品認証セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
29	第2回 ISO/IEC 17065 規格解釈と製品認証(東京)	東京	¥33,000	¥66,000					8/22							
30	第3回 ISO/IEC 17065 規格解釈と製品認証(東京)	東京	¥33,000	¥66,000												3/27

# RMA 2025年度 オンラインセミナー 開催予定表 1/2

※ 諸事情により日程は変更する場合がございます。

No.	オンラインセミナー  ※3か月前からお申込み可能となります	会場	受講料 (消費税込)		2025年度														
					2025年										2026年				
					上期					下期									
					会員	非会員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	

## 規格解説セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	第1回 はじめてのISO/IEC 17025(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000	4/17											
2	第2回 はじめてのISO/IEC 17025(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000						9/30						
3	第23回 知っておきたいISO/IEC 17025の基礎(担当者コース/Basicコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000	4/24											
4	第24回 知っておきたいISO/IEC 17025の基礎(担当者コース/Basicコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000			6/6									
5	第25回 知っておきたいISO/IEC 17025の基礎(担当者コース/Basicコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000					8/5							
6	第26回 知っておきたいISO/IEC 17025の基礎(担当者コース/Basicコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000							10/1					
7	第27回 知っておきたいISO/IEC 17025の基礎(担当者コース/Basicコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000									12/9			
8	第28回 知っておきたいISO/IEC 17025の基礎(担当者コース/Basicコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000											2/6	
9	第19回 一歩進んだISO/IEC 17025の活用(ラボ管理者・中堅要員コース/Advancedコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000		5/13										
10	第20回 一歩進んだISO/IEC 17025の活用(ラボ管理者・中堅要員コース/Advancedコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000				7/3								
11	第21回 一歩進んだISO/IEC 17025の活用(ラボ管理者・中堅要員コース/Advancedコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000						9/3						
12	第22回 一歩進んだISO/IEC 17025の活用(ラボ管理者・中堅要員コース/Advancedコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000							10/23					
13	第23回 一歩進んだISO/IEC 17025の活用(ラボ管理者・中堅要員コース/Advancedコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000										1/15		
14	第24回 一歩進んだISO/IEC 17025の活用(ラボ管理者・中堅要員コース/Advancedコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000											2/26	

## 内部監査員養成セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
15	第13回 ISO/IEC 17025 オンラインによる内部監査員実践セミナー(2日) — ロールプレイによる指摘演習 —	オンライン	¥66,000	¥132,000					8/20 21							
16	第14回 ISO/IEC 17025 オンラインによる内部監査員実践セミナー(2日) — ロールプレイによる指摘演習 —	オンライン	¥66,000	¥132,000								11/26 27				
17	第15回 ISO/IEC 17025 オンラインによる内部監査員実践セミナー(2日) — ロールプレイによる指摘演習 —	オンライン	¥66,000	¥132,000												3/17 18

# RMA 2025 年度 オンラインセミナー 開催予定表 2/2

※ 諸事情により日程は変更する場合がございます。

No.	オンラインセミナー ※3か月前からお申込み可能となります	会場	受講料 (消費税込)		2025年度											
					2025年						2026年					
					上期						下期					
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>試験技術セミナー</b>					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
18	第3回 ISO/IEC 17025のキーポイントへの取り組みとマネジメント(半日) —試験、不確かさとトレーサビリティ、リスクとマネジメント—	オンライン	¥16,500	¥33,000					8/4							
19	第4回 ISO/IEC 17025のキーポイントへの取り組みとマネジメント(半日) —試験、不確かさとトレーサビリティ、リスクとマネジメント—	オンライン	¥16,500	¥33,000										1/19		
20	第7回 オンラインで学ぶゲルマニウム検出器によるガンマ線スペクトロメトリ(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000			6/5									
21	第9回 試験所における計量トレーサビリティの確保と内部校正の利用(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000						9/9						
22	第10回 試験所における計量トレーサビリティの確保と内部校正の利用(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000										1/22		
23	第7回 試験所(化学分野)における精度管理の基本的な考え方(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000							10/2					
24	第8回 試験所(化学分野)における精度管理の基本的な考え方(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000												3/12
<b>不確かさセミナー</b>					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
25	聞いて、見て、やってみよう 2025 不確かさセミナー	オンライン	¥33,000	¥66,000								11/21				
26	現場で役立つ 2025 不確かさセミナー：検査線・校正直線を用いた時の不確かさ評価	オンライン	¥33,000	¥66,000											2/27	
<b>食品、微生物分野セミナー</b>					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
27	第1回 食品等の理化学試験結果が妥当であるための要件	オンライン	¥33,000	¥66,000		5/28										
28	第2回 食品等の理化学試験結果が妥当であるための要件	オンライン	¥33,000	¥66,000							10/22					
29	第7回 微生物試験結果が妥当であるための要件	オンライン	¥33,000	¥66,000				7/23								
30	第8回 微生物試験結果が妥当であるための要件	オンライン	¥33,000	¥66,000											2/4	
<b>臨床検査分野セミナー</b>					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
31	第1回 はじめてのISO 15189(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000	4/25											
32	第2回 はじめてのISO 15189(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000							10/3					
33	第1回 ISO 15189:2022 規格概要解説オンラインセミナー	オンライン	¥33,000	¥66,000					8/1							
34	第2回 ISO 15189:2022 規格概要解説オンラインセミナー	オンライン	¥33,000	¥66,000							10/24					
35	第3回 ISO 15189:2022 規格概要解説オンラインセミナー	オンライン	¥33,000	¥66,000											1/16	
36	第1回 臨床検査室のためのリスクマネジメントセミナー ～ ISO 22367の基本的なプロセスを理解するため～(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000		5/23										
37	第2回 臨床検査室のためのリスクマネジメントセミナー ～ ISO 22367の基本的なプロセスを理解するため～(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000						9/5						
38	第3回 臨床検査室のためのリスクマネジメントセミナー ～ ISO 22367の基本的なプロセスを理解するため～(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000											1/30	
<b>マネジメントセミナー</b>					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
39	第12回 オンラインで学ぶラボラトリのリスクマネジメント(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000			6/10									
40	第13回 オンラインで学ぶラボラトリのリスクマネジメント(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000							10/7					
41	第14回 オンラインで学ぶラボラトリのリスクマネジメント(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000											2/17	
<b>製品認証セミナー</b>					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
42	第3回 オンラインで学ぶISOによる製品認証と認証スキーム(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000			6/18									
43	第3回 オンラインで学ぶISO/IEC 17065 製品認証とファンクショナル・アプローチ(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000									12/5			
<b>試験所経営セミナー</b>					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
44	第1回 エフェクチュエーション(半日) ～事業開発の実践理論、実証研究から見出された5つの原則～	オンライン	¥16,500	¥33,000				7/14								
45	第1回 VUCA(不確実)時代の人材育成(半日) ～従来発想の人事制度は効果なし、人が育つマネジメントの本質を追求する～	オンライン	¥16,500	¥33,000											2/2	

## 事務局だより

### 🌸 RMA会員年会費につきまして

本年度（2025年度）の「RMA会員会費請求書」をマイページにアップいたしました。  
3月上旬にメールにてお知らせしています。（一部会員様を除く）  
お手数ですが、5月末日までに会費のご入金手続きをお願いいたします。

### 🌸 臨床検査室向け相談コーナーを開設します

2025年5月12日（月）より、臨床検査室におけるマネジメントシステム構築の悩み相談の解決を考える「臨床検査室向け相談コーナー」を開設します。ご相談の担当は、RMA理事の関 顯が務めさせていただきます。関理事はISO 15189 認定審査員でもあり、衛生検査所においてマネジメントシステム構築の経験もごございます。  
詳細は後日RMAのウェブサイトでお知らせいたします。

### 🌸 2025年度のセミナー開催予定を掲載します

2025年度のRMAセミナー（対面型、オンライン）スケジュールを6～9ページに掲載しましたのでご覧ください。  
最新の開催予定はRMAウェブサイトのトップページ(<https://rma.tokyo>)の「セミナー予定表」でご確認いただけます。他、セミナーの追加や変更がある場合はウェブサイトですぐお知らせします。



## 🌸 2025年5月～8月新規開講セミナーのご紹介

2025年5月から8月の間に新規開講するRMAのセミナーを5つご紹介します。

### 1.食品等の理化学試験結果が妥当であるための要件(オンライン)

今年度は、**5月28日(水)・10月22日(水)**の2回開催します。

#### <対象者>

食品等の理化学試験に携わっている方及び試験結果を利用される方

#### <内容>

食品等の理化学試験は、食品衛生法等の規格基準への適合性の確認、成分表示のための含有量の調査、製品中の有害又は有効成分の調査など様々な目的で行われています。

試験所の能力に関する国際標準ISO/IEC 17025はラボラトリに、「妥当な結果を出す能力があることを実証できる」ことを求めています。

では、試験結果が「妥当である」とは何を意味するのでしょうか。また、能力があることをどのように実証すれば良いのでしょうか。

本セミナーでは、ISO/IEC 17025: 2017の解説を通して、「妥当な結果を出す能力があること」及び「結果が妥当である」ことを実証するための要件及びその基礎となる統計処理について理解を深めていただきます。

ラボラトリはそれぞれ異なる使命・目的を持っています。本セミナーでの受講を通して、それぞれラボラトリにとって適した実証方法が何かを考えていただき、見つけていただければ幸いです。

### 2.臨床検査室のためのリスクマネジメントセミナー

～ISO 22367の基本的なプロセスを理解するため～ (オンライン・半日)

今年度は、**5月23日(金)・9月5日(金)・26年1月30日(金)**の3回開催します。

#### <対象者>

ISO 15189:2022の規格の改定では、マネジメントシステムの要求事項はリスクマネジメントをベースとして構築されるようになりました。ISO 9001を始め、ISO/IEC 17025などの適合性評価の規格におけるマネジメントシステムでは、リスク及び改善の機会に対する取り組みが必須です。

すでに認定を取得され、より効果的なリスク対応の運用を検討されている臨床検査室の方、また、新規に認定を取得しようとする臨床検査室の経営者、管理者、品質管理者、技術管理者、内部監査員登録のため、規格を理解したい内部監査員予定者の方々には、このセミナーでさらに理解を深めていただくことをお勧めします。

#### <内容>

ISO 15189:2022の目的は、臨床検査室の品質と能力に対する信頼性を通じて、患者の福祉及び検査室の利用者の満足を促進させることにありと規格序文に記載されています。

臨床検査室がリスク及び改善の機会に対する取り組みについて計画し、導入して検査室を運営することを通して、マネジメントシステムの有効性を高め、無効な結果が生じる可能性の低減、並びに患者、検査室要員、公衆及び環境への潜在的な危害の低減がはかられることとなります。

このようなリスクマネジメントを活用して、さらに効果的な臨床検査室運営を目指している管理者の方々には、事例を紹介しながら活用方法を説明します。

### 3.臨床検査室のための精度保証セミナー（不確かさを含む）（対面）

今年度は、6月20日(金)・12月12日(金)の2回開催します。 

#### <対象者>

臨床検査室の検査サービスは、患者診療において極めて重要で、その結果の信頼性には、検査方法の選択、妥当性評価、精度管理、その信頼性を確保のために必要な測定の不確かさとトレーサビリティなど、多くのポイントがあります。これらについて、あらためて学びたいと考えている方に最適です。

#### <内容>

臨床検査室サービスの提供において基本にある、リスクをベースにしたアプローチは、検査の実施の場面でも、システムの構成・検査室運用の場面でも「不確かさ」がキーワードになっています。

教科書的な算出方法は分かったけれど、何かすっきりしない「不確かさ」。

形式的な書式を所有しているだけで、理解が今ひとつな計量トレーサビリティの確保と校正（特に内部校正）の手法。

検査室が自身のパフォーマンスの質を維持することを支援する一つ的手段として利用されるべく外部精度評価（EQA）の活用。

本セミナーでは、こういった漠然としてとらえてきた臨床検査結果にかかわる精度保証のポイントをきちんと理解していただけるよう、座学と演習を並行して進めることで、日常の臨床検査室運営がより確実になるようなプログラムとしました。

### 4.ISO 15189:2022 規格概要解説オンラインセミナー（オンライン）

今年度は、8月1日(金)・10月24日(金)・2026年1月16日(金)の3回開催します。

#### <対象者>

初めてISO 15189に基づく臨床検査室の品質マネジメントシステムに携わる方、ISO 15189規格要求事項の流れを再確認されたい方

#### <内容>

本セミナーは、ISO 15189に基づく臨床検査室の品質マネジメントシステムに携わる方を対象にISO 15189:2022の要求事項について1日で解説します。

初めてISO 15189に基づく臨床検査室の品質マネジメントシステムに携わる方、ISO 15189規格要求事項の流れを再確認されたい方にお勧めのセミナーとなります。

充実したテキストを用いることにより、ISO 15189規格要求事項の全容を解説しています。

## 5.エフェクチュエーション

～事業開発の実践理論、実証研究から見出された5つの原則～（オンライン・半日）

今年度は、7月14日(月)に開催します。

<対象者>

新規事業開発及び既存事業のトランスフォーメーションに関心のある方。

<内容>

【問題意識】VUCA時代、事業計画の多くは計画通りにはならない。よって、既存の事業計画に関する考え方（コーゼーション）は役に立たないか逆効果になる可能性が高い。

2009年にエフェクチュエーション理論が紹介されてきた。永きにわたり、成長戦略が求められてきたが、既存事業の維持に注力してきたのではないか。

挑戦と言いながら挑戦に相応し思考と行動様式は伴っていない。

多くの企業でエフェクチュエーションの実践指導をしてきた講師が理論と実践の両面から講義を行う。

セミナーのお申込みは開催日の約3か月前から可能です。  
お申込みお待ちしております！



## 編集後記

競走馬理化学研究所様のRMA見学会で薬物分析の流れを拝見し、公正な競争確保するために様々な細かい検査をされていることに感銘を受けました。また、研究所の方のお話を直接伺えることができたことも貴重な経験となりました。研究所の皆様大変お世話になりありがとうございました。

RMAでは今後も見学会やフォーラム等、会員の皆様にご参加いただける機会を設ける予定です。その際は皆様ぜひご参加ください。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

事務局 編集担当 中澤

発行：一般社団法人 RMA

表紙写真提供：植松 慶生

10ページ目写真提供：井口 新一様

東京都品川区西五反田1丁目11-1

アイオス五反田駅前 502号

 03-6417-3400

 jimukyoku@rma.tokyo